



平成31年(2019年) 年頭にあたって



佐久地区賛助会
会長 加藤豊久

佐久地区賛助会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年末、世界経済は、米中貿易摩擦が激しくなり、また、米国のアップル社の業績が下方修正されるという激震に見舞われました。そのため、一挙に不安ムードが高まり、各国の市場で株式相場は大幅に下げました。このような波乱ムードの中で新しい年が始まりましたが、年末の暗い雰囲気を吹き飛ばすかのように、元旦の空は青く澄み渡り、まことに清々しいものでした。

昨年九月に臼田のコスモホール等を会場として、2018ねんりんピックの文化芸術交流大会が開催されました。会場の設営や運営の支援にたくさんの方々にご参加いただきました。皆様のご尽力に感謝いたします。

ここで、佐久地区だけでなく、長野県の賛助会に共通する問題、会員数の減少について、私の考えを申し上げたいと思います。

長野県の賛助会の個人会員は、平成元年度末に3159名でした。その後、順調に増え、平成15年度末には7612名を数えました。しかしながら、その後、一貫して減少を続け、平成30年11月末現在2806名にまで減ってしまいました。当賛助会の会員数も同じような推移をたどり、平成15年には700名を超えた会員も現在は400名にまで減少しています。昨年、12月20日に開催された地区賛助会連絡協議会でも、多くの地区賛助会から「いろいろな対策を講じているが、会員の減少が止まらない」という声が出ました。

当賛助会の活動を考えてみますと、2年前まで、春の総会と講演会、秋のマレットゴルフ大会、そして、活動発表会が主な活動でした。つまり、賛助会は各グループ(ほとんどの会員がいろいろなグループに所属して活動しています)の利害(例えば、活動発表会のステージ発表の出演時間や順番など)を調整することが主な活動でした。言わば、グループにかぶせた帽子のような存在でした。これでは、会員の皆さまには賛助会の活動が目に見えず、賛助会に加入しているという意識が薄くなるのも当然かと思えます。この状況を改善するために、川村会長の下、一昨年に会員みんなの運動会を取り上げました。昨年は運動会に加えて、虚空蔵山ハイキングを行うことにし、シニア大学生にも参加を呼びかけました。

私は、この「グループの枠を離れて会員が集まり、活動する」という方向をさらに発展させてゆきたいと考えています。会員の皆様は好きなグループに入って活動されますが、「グループの外でも、会員誰もが参加できる、魅力的な活動のある賛助会」を目指したいと考えております。

グループがそれぞれ活発に活動され、魅力あるものになってゆくことは勿論ですが、グループを離れたところで、我々の健康と運動に関する事や10月に予定されている消費税引き上げとポイント還元、スマホ決済等、すべての会員の生活に大きな影響を持つテーマ、そして、何よりも楽しいこと・面白いことを賛助会として採り上げてゆく。そんな賛助会を作りたいと考えております。

皆様のご支援をお願いします。

末筆ですが、新しい年が皆様にとって実り多い年となりますよう、お祈りいたします。



平成30年度 佐久地区賛助会員活動発表会

～ それぞれの成果を共有し 感動と喜びの発表会 ～

平成30年度佐久地区賛助会員活動発表会が、平成30年11月22日(木)に佐久合同庁舎5階講堂等において盛大に開催されました。

これまで、佐久地区賛助会では、413名の会員が27グループに所属し、それぞれの活動を通じて会員相互の交流を図るとともに、様々な社会参加を行ってきました。

この度、グループの枠を超えて会員相互の交流を図るとともに、互いの活動を共有し更なる賛助会の発展を期して、賛助会員の活動成果の発表会を開催しました。

当日は、賛助会員のほか、シニア大学生及び一般の方を含め約220名が参加されました。

◆開会式



主催者として、加藤賛助会会長及び唐沢支部長から「1年間の活動成果の発表を通じ、交流を深めてください」との挨拶がありました。

引き続き、2018信州ねんりんピックの高齢者作品展で受賞されました次の3名の方に賞状伝達が行われました。

- ・手工芸の部門 佐久市長賞 臼田 文子 様
- ・書の部門 佐久市長賞 中島さち子 様
- ・手工芸の部門 奨励賞 土屋おき子 様

その後、ご来賓を代表して花岡県議会議員、白井佐久保健福祉事務所長様からご祝辞をいただきました。

その他にも多数のご来賓の皆様にご出席いただきありがとうございました。

◆ステージ発表

11グループが午前・午後に分かれて、練習を重ねてきた日本舞踊・詩吟・銭太鼓・コカリナを披露しました。

平成30年度に入会した「さくら会(グループ長:菊池利男)」も、日本舞踊(花笠音頭・望月小唄・さくら音頭)を披露し、観客の盛大な声援を受けていました。



◆展示発表

15のグループが、模造紙や作品等で日頃の活動成果を展示発表するとともに、各グループ長がステージに登壇し、活動内容を発表しました。

なお、本年は新たに広報委員会で平成30年度の活動状況を写真展示しました。

また、平成30年度に入会した「糸華会(グループ長:高野しな子)」も、かご等の作品を展示するとともに体験コーナーを設置し、会員との交流を図るなど活発に活躍していました。



◆体験コーナー



◆全員で斉唱「信濃の国」(伴奏:コカリナ木霊)



2018信州ねんりんピック スポーツ交流大会

～ スポーツで輝く いきいきシニア ～

「高齢者の皆さんの生きがい・健康づくりや社会参加への関心を高める契機とするとともに、明るく活力ある長寿社会の実現」を目指して、平成30年10月20日(土)に東御市(東御中央公園・海野マレットゴルフ場)において、「スポーツ交流大会」が開催され、佐久地区賛助会から加藤会長と北村副会長が役員として出席しました。

当日は、ペタンク・ゲートボール・テニスなど10種目で熱戦が繰り広げられ、ペタンクで「佐久コスモス(佐久市)」が優勝、「あさま(佐久市)」が3位に入賞するなど、各種目において佐久地区賛助会の皆様の活躍が目立ちました。



第27回諏訪シニア賛助会活動発表会視察

～ 多彩なステージ発表と展示発表に感激 ～

諏訪シニア賛助会から、12月1日(土)に諏訪市文化ホールで開催される「第27回諏訪シニア賛助会活動発表会」へのお誘いを受けたため、佐久支部賛助会から加藤会長・伴野副会長・北村副会長・橋本コーディネーターの4名が視察してきました。

勇壮な「いしかわじま太鼓」に始まり、開会式・賞状授与式が行われた後、ステージ発表・展示発表を見てきました。シニア大1・2年生も演歌体操(大阪すずめ)・踊り(お諏訪節)をステージで発表しました。

佐久地区賛助会にはないグループも数多くあり、多彩な発表に大変刺激を受けました。(手話ダンス・朗読・カラオケ・フォークダンス・コーラス・太極柔力・琴と尺八演奏・写真・版画・俳句・スタンドグラス・ボウリング・グラウンドゴルフ など)



平成30年度第2回地区賛助会連絡協議会

～ 県下10地区の賛助会会長と本部が出席し、情報交換を行いました ～

平成30年12月20日(木)に長野市の長野県社会福祉総合センターにおいて、「第2回地区賛助会連絡協議会」が開催され、佐久地区賛助会から唐沢支部長・加藤会長・北村副会長が出席しました。

午前中は、長野県長寿社会開発センターの平成31年度事業計画について説明があり、午後は、各地区賛助会会長から「平成30年度賛助会活動状況や運営の工夫」等について報告がありました。

各賛助会とも、スポーツ交流大会(マレットゴルフ・ハイキング・ボーリング・ウォーキング等)や料理教室などを開催し、会員相互の交流やシニア大学生との交流を図るなど、会員増強と活性化を図る努力をしていました。



シニア大学佐久学部2学年講義「賛助会員へのお誘い」講座

～ グループ長等が、「賛助会への加入勧誘」を実施 ～

平成30年12月14日(金)に佐久市市民創錬センターで開催された、シニア大学佐久学部2学年の授業において、賛助会への加入勧誘を実施しました。

橋本コーディネーターから賛助会加入手続きの説明と新規グループの立ち上げ依頼をしました。(希望するグループ:スポーツ関連・おもちゃ修理・写真・俳句・短歌・絵画・版画・地域活動支援等)

その後、萩原活動推進サポーターがパワーポイントを使用し、賛助会の活動状況の説明及び賛助会への加入勧誘を実施しました。引き続き、賛助会のグループ長等がステージで各グループの活動内容や発表及びグループへの加入勧誘を実施しました。(写経・パソコン・踊り・銭太鼓等)

最後に、賛助会の相談受付ブースで、新規グループ立上げについての相談や既存グループへの入会手続き等の相談を実施したところ、数多くの相談を受け付けました。

今後の入会が多いに期待されるそうです。



「郷土史を学ぶ会」公開講演会

～ 演題：海軍記念日・御牧原大運動会 ～

- ▼ 開催日 平成30年12月17日(月)
- ▼ 開催場所 佐久市市民創錬センター
- ▼ 演題 海軍記念日・御牧原大運動会
- ▼ 講師 佐久市立望月歴史民俗資料館
館長 上原美次 様
- ▼ 主催 佐久地区賛助会グループの
「郷土史を学ぶ会」
- ▼ 後援 (公財)長野県長寿社会開発センター
佐久支部



明治39年から昭和19年まで、日露戦争戦勝記念日の「海軍記念日」に、御牧原に選手と観客で4万人近くを集めたという「北佐久郡各種学校連合大運動会」が実施されていました。膨大な資料からその実態を把握した上原館長から、その開催に当たっての苦労話(1日で2100坪の会場を作った)やこぼれ話(第1回運動会終了後酒に酔って日本海軍大将東郷平八郎に祝電を打ったところ、すぐに返電がありみんなで歓喜した等)なども含め、ユーモアのある語り口で詳細にご説明いただきました。

また、当時運動会で掲載されていた貴重な「Z信号旗(日本海軍旗艦三笠に掲揚されていたもの)」も持参いただき講演会場に掲示されました。

当日は、郷土史や御牧原大運動会に興味のある(知っている)一般の方も多数参加し、盛大な講演会となりました。



長野県シニア大学 佐久学部 <平成31年度入学生・募集中>

<一般コース> 生きがいくくり・仲間づくり・社会参加の
きっかけづくりを目指します

1 募集人員	140人(おおむね50歳以上の県内在住者)
2 学習内容	地域と関わる人材を育むため、幅広い分野の学習ができるよう多彩な講座を設けています。 (1)教養講座(知識や教養を深める講座) (2)実技・選択講座(人生を豊かにするため、創作実技を選択して学ぶ講座) (3)社会活動講座(経験・技術などを地域社会に活かすことを学ぶ講座)
3 授業料等	年額10,000円(このほかに、教材費や自治会費等の費用が必要です。)
4 募集期間	平成31年2月1日(金)～平成31年3月15日(金)
5 募集案内・入学願書	(公財)長野県長寿社会開発センター佐久支部(長野県佐久保健福祉事務所福祉課内)、市役所・町村役場において1月初旬頃から配付します。
6 申込み先	(公財)長野県長寿社会開発センター佐久支部(長野県佐久保健福祉事務所福祉課内)、市役所・町村役場へ持参または郵送。
7 問合せ先	(公財)長野県長寿社会開発センター佐久支部(長野県佐久保健福祉事務所福祉課内) 〒385-8533 佐久市跡部65-1 電話:0267-63-3141(担当:橋本)

・ ・ ・ 親族・知人・友人に、お誘いのお声掛けをお願いします ・ ・ ・